

# 続 学校点描

梅雨に入り、雨の降り方が豪雨に近いときもありました。その度に防災マップで河川の状況を確認します。

《M中学校》

NO.7

R6. 7. 3

担当：校長

6月20日（土）、21日（日）は、市陸上競技場を会場に地区中総体陸上競技が開催されました。普段の部活動とは違い大会前数日間練習を重ねた選手たちでしたが、テント前の応援は仲間のために大きな声を出し、どの学校よりも目を惹くものがありました。M中らしさを感じる一瞬でした。担当してきた伊藤先生が発行した『地区陸上総括』の中で「待ち望んでいたM中の復活」と書いてありました。競技結果もそうですが、それ以外の振る舞いからもそんなことを感じさせた大会でした。

【女子】1年100m G・Sさん 第7位、2年100m I・Mさん 第4位、S・Rさん 第5位、3年100m T・Mさん 第2位、共通200m T・Mさん 第4位（3位と同順）、1年1500m I・Mさん 第4位、2.3年1500m S・Hさん 第4位、共通100mH A・Mさん 第6位、低学年4×100m 第2位（G・Sさん、I・Mさん、S・Kさん、S・Rさん）、共通4×100m 第2位（T・Mさん、W・Rさん、S・Hさん、K・Nさん）、走高跳 G・Yさん 第8位（同順）、走幅跳 K・Nさん 第4位、W・Rさん 第6位、砲丸投 O・Sさん 第5位、O・Nさん 第8位、四種競技 I・Yさん 第5位、A・Mさん 第6位、O・Nさん 第7位

【男子】1年100m I・Hさん 優勝、2年100m I・Kさん 第3位、共通200m S・Jさん 第6位、1年1500m H・Rさん 第6位、S・Dさん 第8位、2.3年1500m A・Kさん 第8位、共通3000m A・Kさん 第8位、共通110mH S・Rさん 第2位、低学年4×100m 第4位（K・Tさん、I・Kさん、A・Mさん、I・Hさん）、共通4×100m 第3位（O・Rさん、K・Hさん、S・Jさん、W・Hさん）、走高跳 W・Hさん 優勝、走幅跳 W・Hさん 優勝、S・Aさん 第5位、砲丸投 T・Yさん 第2位、四種競技 S・Rさん 第2位

## 先生の涙

今から9年前、小学校時代の友人から手紙がきた話です。実は、その友人は、病気で足が不自由なため車椅子で学校生活を送っていました。手紙には、草野球で遊んだ話が懐かしそうに書いてありました。わたしは、S市で生まれ育った人間です。当時わたしの通った小学校は県内で児童数が1番多い学校でした。小学時代のわたしは、学校から帰ると玄関にかばんをぶん投げて、再び学校へまっしぐらです。毎日、学校のグラウンドで草野球をするのが日課でした。勝敗が決まらず熱戦になると、暗くなって球が見えなくなっても続けてしまいます。そうなった翌日は、必ず先生から罰として職員室前廊下に並ばせられてのお説教でした。

そんな少年時代でした。



車椅子の友人と同じ学級になったのは5年生だったと思います。担任の先生は車椅子の彼のため、体を動かす“以外”の遊びをするように、草野球好きのわたし達に話をするのです。車椅子ということだけで、いじめられることもあったと言っていました。先生は、誰もが等しく遊ぶ“機会の平等”を望んだの



でした。彼との出会いは「平等」と「公平」の違いを初めて考えたきっかけだったかもしれません。

けれど野球好きのわたし達を、止めることはできません。その日も、大熱戦で夜空に星が輝く中、グラウンドで野球を続けていました。そうしたら、私たちのもとに、血相を変えた顔つきで担任の先生が校舎からやってきたのです。「ああやばい。怒鳴られるな」と思ったその時です。なんと先生は、私たちの野球風景を見て、黙って帰っていったんです。後で、聞いたのですが、先生にとって、その光景はショックだったと言っていました。なぜかって、わたし達は、車椅子の彼も交えて、野球をしていたのです。ルールは、彼が車椅子のまま打席に入り、ボールを打ったら、別の子供が代りになって走る、ただそれだけだったんですが…

案の定、次の日は、夜遅くまで遊んでいたということで、彼も含めて職員室前廊下に全員集合です。

いつもと違っていたのは、先生が、泣きながら叱っていたことです。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。